



かけはし

第 8 号

令和元年12月 1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

令和元年も大詰めに

校長 橋 早智子

智恵文にも本格的な冬がやってきました。

今月(師走)は1年を振り返り、次の準備にとりかかる月です。

いよいよ令和2年度から、新学習指導要領が完全実施となります。今回の改訂で一番重要なところは、以下のとおりです。(昨年も同じ資料を掲載しています)

- 「新しい時代に求められる資質・能力の育成」がスローガンです。
- 「思考力・判断力・表現力」が求められます。



自分から進んで、周りと共有し合いながら

- 「学びに向かう力、人間性等」を身に付けさせます。

※今までは「やる気」→「学習」→「自信」

これからは「学習」→「自信」→「やる気」

まず「学習の見通しをもって学ぶ」ことからスタートします。

学んでわかったことを基に話し合い学びを深めます。

わかった喜びが、次の学習のバネになります。

↑
ここが大切！！



令和元年、本校は授業の充実に向けて、コミュニティスクールの学校支援システムに多くの協力をいただき、授業改善が大きく進みました。

4月に実施されました全国学力学習状況調査では、自己肯定感と地域への関心を高くもち、ICTを活用した授業で学んでいきたいという児童の姿が明らかになりました。学習面では全般的に努力が必要な旨の結果が出ましたので、春より教師団が一丸となって、授業改善を進めております。

11月の授業改善(地域連携に関わるもの)

- ・1・2年生のICTを用いた遠隔授業 【生活科…発表活動～中名寄小学校1・2年生との連携】、
- ・5年生への記録映像を用いた授業支援 【理科「川と災害」…知識、理解の学習
～北海道博物館学芸主査(青柳氏)と友朋学級より4名の協力】
- ・1～6学年の地域学習 【生活科・総合的な学習…ジャガイモを素材とした食育学習
～JA馬鈴薯部による授業支援＝カルビー・スナックスクール事業部の協力】

学校ホームページを随時更新してお知らせしております。ご覧いただけると幸いです。